



富山県作業療法士会 ニュース

平成21年度 No.4 第95号 平成22年1月15日

発行 富山県作業療法士会

会長 田村 良子

印刷 株式会社エツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

第11回 富山県作業療法学会を終えて

富山労災病院 広野 弘美

「臨床力を研ぎ、愉しむ 一熱い思いを形にすることの大切さ」をテーマとした第11回富山県作業療法学会に多くの方に参加して頂いたことを心から感謝しています。学会を通し、日々の臨床を内省する機会になったのでしょうか。皆さんの心の中に臨床力という言葉が少しでも残っているのでしょうか。

さて、今学会を企画・運営するにあたり、私自身が一番様々なことを経験し、学び感じ取ったように思います。県内各分野のOTが一同に会する機会、参加されたすべての方に「来てよかった!」と感じてもらえる学会にしたいという熱い思いが私にはありました。それは新川地区実行委員全員のいい学会にしたいという思いでもあり、同じ目標に向かい、皆が心をひとつにした素晴らしい経験でもありました。24題の演題発表のほかに、シンポジウムは身障・発達・精神・老人・教育の各分野のシンポジストからの話、さらにはActivity展示コーナーや図書販売、新川地区OT施設紹介など、本当にいろんな事を熱く形にした学会でした。

そして、こんなに盛りだくさんの内容でできたのも皆さんの協力があったからこそ私は感じるばかりです。シンポジストの方に学会主旨を伝えたと、心よく引き受けて頂きました。すべてのシンポジストが決まった時、きつといいシンポジウムになるという確信のようなものが私には芽生え、小躍りしたい位の気持ちでした。そしてどの方もお忙しいにもかかわらず臨床力という難解なテーマに対して、それぞれのスタイルでわかりやすく発表して頂いたことを本当に感謝しています。

また、演題発表数の多さ…数名の発表予定者と電話で話す機会がありましたが、「自分への挑戦」「いつかはやらなきゃと思っていた」とチャレンジする言葉を聞き、頑張っている姿を想像すると嬉しくて、小躍りからジャンプして飛び上がりたい気持ちになりました。当日の発表では、どの演題も臨床で真摯に取り組んでいた様子が伺われ、富山県士会員は力を持っていると、また一人で嬉しくなっていました。今回の底力を今後も持ち続け、更なる飛躍として県学会のみならず全国学会での発表へと繋げることを切に望みます。絶対出来ます!!!

また、発表時は座長を2人1組へとスタイルを変えました。ベテラン・中堅・若手と経験年数の違いはありましたが、互いに協力しあい、温かな雰囲気を作りながら進行して頂きありがとうございました。

Activity展示にも多くの方が足を止めている光景がありました。ほのぼのとした会場作りに華を添えて頂いたと感じました。

今回の学会を通して、私は大切なことに気付きました。運営委員は多くの方にシンポジスト・座長・演題・Activity依頼のお願いをしました。もちろん多くは電話での依頼からスタートします。中には遠慮したいと感じる人がいてもおかしくないのに…依頼した皆さんは快く受けて頂きました。では、私はそう出来るだろうか？私の中にはNOと言ってしまふ自分がいるのではないだろうか…。他者から物事を依頼された時にはNOと言わない自分…そんな自分になる努力が必要だと今は感じています。

最後にシンポジウムの時間に私が壇上から感じたことを伝えます。壇上にいたシンポジストは私を含め全員が緊張していたと思います。ライトを浴び、多くの人々の視線を感じるのには恥ずかしいものです。でも、私から見るとフロアの方にもライトが照らされているような光景に映りました。そしてフロアに座っている誰もが臨床力について真剣に考えている表情をしておられ、一人一人が輝いていました。今後、臨床力をさらに研ぎ、それぞれの職場で光放つOTになれば…素敵ですね。

富山県作業療法学会は今後も続きます。より実り多い学会になるよう、これからも会員が一丸となり盛り上げていけたらと思います。みんなで協力し合い、学会参加をまた愉しみましょう。



第11回 富山県作業療法学会を終えて

黒部市民病院 濱田 朋子

10月4日各地で運動会が行われている秋真っ盛りの日曜日、シンポジウム5テーマ、演題数24題、Activity展示、参加者数214名（会員191名、学生23名、他種職1名）と盛大にかつ無事終わることが出来ました。

私が運営委員長を引き受けたのは、「皆でやろうよ」と言う広野先生の一言でした。日々の恩返しに少しでも手助けできるならと受けたつもりが、振り返れば大きな間違いでした。助けどころか、余計仕事を増やしていたように思います。幾度と先生の行動力と信念の強さに敬服しました。改めて時間は自分で作るものだと感じました。

さて、学会当日壇上に花が無いのに気づかれた方は居られるでしょうか？少しでも無駄を省かせていただきました。そして、大きな声で発表した人、沢山のデーターを収集した人など頑張った人を褒めてあげたいと学会長の発案で学会奨励賞を設けました。受賞された方々おめでとうございます。今後より一層のご活躍を期待しております。

演題数が多い中参加した人が全ての演題を聞けるように口述のみとしました。予想はしていたものの進行の遅れを招き、大変申し訳なく思っております。

また、参加された方々は、熱い熱い思いを感じて頂くことが出来たでしょうか？この学会テーマである「臨床力を研ぎ、愉しむ」為に改めて日々を振り返り見つめ直す重要さを感じています。そしてActivity展示を行うことで、翌日の実践力になったのではないのでしょうか。皆様も得られるものが有ったと信じております。

学会運営を新川地区で担当したことにより、地域間の結束が深まったと感じています。（私だけかもしれませんが。）最後になりましたが、発表して頂いた諸先生を初め、運営に関わった役員、学会に参加して下さいました皆様には至らないことが多くご迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫びするとともに、心より感謝申し上げます。



第11回 富山県作業療法学会に参加して

八尾総合病院 岡田 有由

平成21年10月4日に新川文化ホールにて開催された11回富山県作業療法学会に参加しました。臨床経験7年目の私ですが、今回初めて「自動具片手で楽々の紹介」という演題で口述発表を行いました。きっかけは、所属するアクティビティ部会より声を掛けられたことからでしたが、いい機会であると考えお引き受けしました。

発表の内容は、以前製作した自動具の紹介と、それを使用した片麻痺患者の症例の反応という形でまとめました。

準備段階において、まず症例の経過を確認しました。現在は外来を利用されていますが入院当初からの経過を追いながら、当時の状況を半ばなつかしい気持ちで思い返しました。同時に、当時のプログラム内容について、機能練習に偏っていなかったか、予後の予測は適当であったか、など自分の関わり方が果たしてこれでよかったか、といった思いもわきあがってきました。

経験年数を重ねるごとに、日々の業務がただ忙しく、自身でフィードバックすることが少なくなっていることを、今回の作業で実感しました。また院内の予演会にてRHスタッフに、様々な助言・意見をいただきました。それをさらに参考にして、自分のやってきたことをじっくりと振り返ることができたのは、大きな収穫であったと思います。

当日の発表では他施設の先生方からも感想や助言をいただきました。ありがとうございました。発表の準備から当日まで慌ただしい日々が続きましたが、得たものは大きかったと思います。

また、他施設の先生方の発表をきくことで、皆さんそれぞれの分野・現場で一生懸命作業療法を実践しているということ、作業療法は広く、難しく、やりがいがあるということを改めて実感できました。多くの時間を割いて協力していただいた皆様に感謝し、今後もさらに自分を高められるよう努力していきたいと思います。

第11回 富山県作業療法学会に参加して

セーナー苑 高井 友紀江

平成21年10月4日、新川文化ホールにおいて第11回富山県作業療法学会が開催されました。今回、私は「他部門との連携作り～症例介入を通して～」と題し、生活場面での訓練によってみられた症例と職員の変化が、職員間の連携作りにもつながったことについて発表させていただきました。発表依頼の電話をいただいた時は、同じ月（しかも同じ週）に別の研究大会での発表が決まっていたこともあり、お断りするつもりでいました。しかし、学会長である広野先生直々の電話と、先生の「発表は絶対に無駄ではないから！一緒に頑張りましょう!!」という、とても熱い言葉に負けて引き受けました。昔から、ギリギリになって焦って慌てて行動し始めるタイプの私…その都度反省しているにもかかわらず学生になっても社会人になっても

母親になっても変わることはなく、今回も締め切り近くになっての原稿、スライド作りとなり…これほどまで反省したことはありません。色々な方の協力のおかげで、なんとか発表を終えることができました。今回の発表では、自分の行ってきたことを振り返り、考える良い機会をいただき貴重な時間となりました。学会のテーマでもあった「臨床力を研ぎ、愉しむ」…日々の業務に追われ、どこかで甘え、いつのまにか臨床を振り返ることを疎かにしていたような気がします。日々を振り返ること、熱い思いを抱き続けること、対象者と愉しむことを思い出させてもらい、また多くの先生からエネルギーをいただき、OTとしてさらに成長したいという気持ちをもたせてくれる学会となりました。

第11回 富山県作業療法学会を振り返って

南富山中川病院 柳原 理恵

今年の学会は10月4日、新型インフルエンザ大流行の中、魚津市新川文化ホールで行われた。

今、学会を振り返ると、6月に開かれた精神障害部会で、「ここでやるしかない」と変に決心がつき、発表することを決断してからあっと言う間にすぎた4カ月だったと感じる。発表を決断…したまでは良かったが、そこからがなかなか進まず苦勞した。内容を症例発表に決め、働き始めてからの7年を振り返ると、印象的な対象者は大勢思い浮かぶものの、まず症例の選出に頭を悩ませた。症例を決めるまでに気付けば2週間。次に、Drカルテ、OTカルテを引っ張り出して読み返した。自分の対応・症例の行動を思い出し、呑気に働き始めの頃を懐かしく思いながらも、私は発表で何を伝えたいのか、どうしたら伝えられるのか、また、自分が行ってきた精神科作業療法について色々と考えさせられ、資料作りは進まなかった。抄録原稿の締め切りが迫り、頼りの米田先生にご助言い

ただき、なんとかか仕上げる事ができた。毎日のOT場面で自分の診療について内省することはよくあるものの、資料作りではより自己を客観的にみることができ、はじめて気付くことも意外に多かった。

学会当日は、「臨床力を研ぎ、愉しむー熱き思いを形にすることの大切さー」のテーマのもと、多くの演題発表があり、分野を問わず刺激となることが多かった。いざ、自分の発表の順番がくると、緊張や不安よりも「聞いている人にどのように伝わるのだろうか…」という気持ちの方が大きかった。無事に発表を終え、担任のM先生にも声をかけてもらい、とにかくホッとしたのを覚えている。

今回、発表という機会を得た事で、今までの自分を振り返り、また、これから自分がどのようなOTRになりたいのか、そのためにはどうしなければいけないのかをじっくり考えることができ、今後目標をもって日々頑張りたいと思う。

第11回 富山県作業療法学会に参加して

富山市恵光学園 水口 淑子

これまで、学会に参加することはあっても、発表することは初めてでした。未熟な臨床経験の中で、発表する内容についてはとても悩みましたが、医療機関から離れ、通園施設という「療育」中心の毎日の中でどのように“作業療法士”として働いているかを紹介する気持ちで、発表準備を始めました。

抄録やスライドを作成していく中で、改めて、子どもたちから学んだことや、自分の失敗を再確認することができました。今でも、その時の関わりが適切であったかはわかりませんが、学園の中で、少しずつではありますが作業療法士としてできることが増えてきたことや、他職種の中で、職員と“一緒に”子どもたちに向き合うことが出来るようになったことは実感として感じられました。また、発表準備の段階で、一緒に内容の推敲や文章の校正をして下さった諸先生方には大変お世話になりました。普段は一人職場で、悩むことが多いです

がこの時ばかりは、とても心強かったです。この場を借りて、御礼申し上げます。

当日は、緊張の中の発表でした。普段は、同じ発達障害領域の勉強会や研修会に参加することが多いため、違う分野の先生方の発表はとても新鮮に感じました。皆さんの真摯な取り組みや、斬新なアイデアを聞くことが出来、関心させられてばかりでした。

日常の業務に追われ、ゆっくりと自分の取り組みを振り返る機会を持つのは発表や研修の機会がなければ、難しいのが実情です（自分の意識が足りないのかもしれませんが…）。今回、発表という機会を得たことは、自分にとって良い機会だったと思います。これからは、知識や情報を得ることはもちろん、新たなネットワークづくりが出来るように、領域にとらわれず、いろいろな研修会などの機会に参加していこうと思います。

平成21年度 第7回理事会議事録

場 所：高志リハビリ病院 2階研修室

日 時：平成21年10月19日(月) 19:00～

参加者：田村・早川・松岡・高林・田邊・橋爪・谷口・高岡

以下のことについて検討し、承認された。

<検討課題>

1. 平成22年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度
作業療法の発展と国民の健康と福祉に寄与する事業
について、OT協会より50～100万円程度の助成をする。
11月10日までに応募書類を提出。発達部会の冊子づく
りや普及指導部の事業規模を広げることなどを検討し
てみる。
2. 事例報告登録制度推進研修会の開催
県士会ではすでに昨年の3月に実施済みであり、21、
22年度の開催は希望しない。
3. 作業療法5ヵ年戦略への士会対応
県士会員への周知徹底を図るため、来年度の全体会
に協会より講師を招き研修会を設ける。
4. 高校生対象施設見学会受け入れに対する士会貢献ポ
イントの認定について
認定するので普及指導部より担当OT名簿を事務局
長に提出する。

<報告事項>

1. 第11回富山県作業療法学会開催(10月5日)
参加者214名(会員191名、学生23名、他職種1名)
24演題
2. 富山県保険医協会30周年記念パーティ(10月5日)
会長出席、第一ホテル約300名
3. OT協会功労表彰対象者へ書類郵送、提出締め切り10
月末
4. 11月21日全体会日程
午後2～3時：事業計画発表
3～4時：講演 4～5時：討議
5. 平成21年度全国自治体病院協議会第1回リハビリテ
ーション部会設立総会・研修会案内(10月30日、東京)
6. 作業療法5ヵ年戦略への士会対応アンケート結果
7. 来年度県OT学会について
9月26日(日)、サンシップ仮予約。特別講演は瀧先生、
ADLについて実技を交えた内容。学会長橋爪氏、実
行委員長小倉氏。

平成21年度 第8回理事会議事録

場 所：高志リハビリ病院 2階研修室

日 時：平成21年11月16日(月) 19:00～

参加者：田村・早川・松岡・丸本・作田・田邊・橋爪
谷口・高岡

以下のことについて検討し、承認された。

<検討課題>

1. 法人化記念式典について
時期は7月頃に。県及び各関係団体に案内、招待。
講演及び祝賀会。早川氏担当。3月総会後に士会員
みでの祝賀会を行う。
2. 定款に記載する理事の名前について
3月総会で役員改選するため登記時と理事が変更

なる。その時点で変更手続きをする。

3. 定款の検討

12月上旬に登記予定なので次の理事会を12月7or14
日にし、司法書士と意見交換をする。その際、役員全
員が印鑑証明持参すること。

4. 11月21日全体会の進行について

事業計画案の報告、検討-事務局長 講演-会長

5. 22年度事業計画案の検討

作業療法の広報、普及活動が重要となる。健康と長
寿の祭典時のパネルの更新、OTシャツの検討。他県
の寸劇(リハレンジャー)、VTRなども参考にしていく。

6. SIGのポイントについて

リハビリテーション関係職員対象研修会等で参加を証
明する領収書等がないものについては、参加者名簿を出
してもらえればポイントは出せる。各圏域の担当者を
確認して対応を依頼する。

<報告事項>

1. 第6回法人化委員会(11月4日)会議報告

手続きは12月上旬に行う。定款作成、登記は司法書
士(原田事務所)、会計管理は小寺会計士(大田興作事務
所)に依頼。

2. 平成22年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度

今回の応募は見合わせ、来年度の応募に向けて各部
に働きかける。

3. 日本作業療法士政治連盟設立総会(12月6日大阪)

富山県から責任者を出して欲しいとの要請-該当事者見
つからず見送り

4. 東海北陸OT学会(11月7、8日)参加者500名

5. 石川県OT士会25周年記念祝賀会(11月7日)会長出 席

6. 健康と長寿の祭典(11月14、15日)作業療法士コーナ ー普及指導部担当

7. 基礎医学部研修会(11月14日)約90名参加 講師よ りCD-ROM寄贈

8. 現職者講習会(精神障害)-11月15日 15名参加 教 育部担当

9. 全国研修会(島根、10月24、25日)谷口氏派遣-400名 の参加

10. 平成21年度第2回東海北陸作業療法士会支部会議 (11月8日、高岡氏)

- ・22年度岐阜にてリーダー研修会開催予定。
- ・石川県士会は公益社団法人に移行予定。その他は22
年4月以降に一般社団法人化。
- ・各県、現職者選択研修会開催。
- ・第10回東海北陸作業療法学会(愛知県士会)-平成
22年11月20、21日、名古屋国際会議場、「作業療
法士の使命再考」、竹田徳則学会長。*富山県は25
年担当

11. 生涯教育推進について

- ・認定作業療法士への研修会を地方開催できるよう協
会より講師派遣する。
- ・講習会での配布資料に引用した文献には著者名を記
すこと。
- ・事例報告で同意書が用意できない状況については考
慮する。

平成21年度 第9回理事会議事録

場 所：高志リハビリ病院 2階研修室

日 時：平成21年12月7日(月) 19:00～

参加者：田村・早川・松岡・作田・高林・田邊・橋爪・谷口
高岡・森・北野

以下のことについて検討し、承認された。

<検討課題>

1. 定款の検討(司法書士との意見交換)

定款では定期総会は年1回なので6月総会が相当する。これまでの3月総会は臨時総会という位置づけとなる。22年4月1日より一般社団法人となるようにし、3月総会で選出された新役員で登記する。現在の役員は1月の認証手続きの申請者となる。

2. 来年度事業計画について

一般社団法人になっても、これまでの事業、財務の運営で可。全体会での岡本氏の講演より公益事業として市民公開講座の開催が紹介された。担当委員会を設置し企画していく必要がある。各部の事業計画は承認、予算案を1月末までに事務局長へ提出してもらう。

3. 総会について

当初、3月末に総会を開催し、21年度の事業報告、決算と4月1日より一般社団法人化した22年度の事業計画、予算案の審議を同日に行う予定であった。前述の定款よりその必要はなくこれまで通り3月総会は新年度の事業計画、予算案の審議でよいこととなる。3月13日(土)14時より富山医療福祉専門学校にて開催。役員選挙、総会終了後に士会員での法人化祝賀会も行う。

<報告事項>

1. 平成22年度全国訪問リハビリテーション研究会 地域研修会(基礎コース) in富山9月18、19日開催。県士会員の参加が得られるよう、他の研修会や事業と重ならないように調整して欲しい。

2. リハビリテーション関係職員対象研修会等の生涯教育ポイントについて

砺波、新川、富山圏域の担当者からはOT参加者名簿の提出の了承が得られた。

3. OT協会より倫理問題事例一覧

2005年6月から2009年9月までに倫理委員会、協会事務局に相談や報告があった32事例

Activity 紹介

☆ステンシル

万葉病院 沖 宏子

【材 料】 ・いらなくなったカレンダー ・いらぬ布 ・無地のうちわ(画用紙等でも可)

【道 具】 ・アクリル絵の具 ・はさみ ・カッター ・ドライヤー ・筆を洗う水入れ
・ステンシル用の筆※1(100円Shopにも売っています)(・牛乳パック)
※1筆が見つからない時は、布のきれはしを布(10×10cm)にくるみ、輪ゴムで止めたものでも代用することが出来ます。

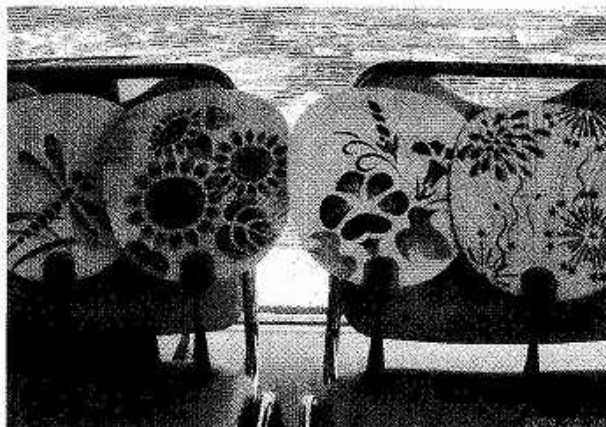
【作り方】

1. いらなくなったカレンダーの裏に好きな絵を描く
2. 描いた絵の色を付けたい所をカッターで切り抜く
3. 絵をつけたい所に2を置いてステンシルする

注 アクリル絵の具を使う時、水は付けないようにして下さい。

- ・乾くと他の色を重ねて付ける事が出来る為、ドライヤー等で乾かしてから行って下さい。
- ・一本の筆で別の色にする時は筆をよく洗い、いらぬ布で水気を取ってから行って下さい。
- ・アクリル絵の具は乾くと色が落ちにくい為、パレットではなく牛乳パックをひらいたものをパレット代わりに使うと、そのまま捨てる事が出来ます。

私の病院では夏は作品を作ったのでうちわに絵をつけましたが、その時の季節にあわせて他の物にも挑戦してみたいかかでしょうか？



池田リハビリテーション病院は、黒部ICから八号線へ向かう途中に見えてくる病院です。立山連峰を一望できるロケーションが自慢です。

当院の特徴は、患者様の9割近くが黒部市民病院から転院してこられること。

回復期病棟において、365日体制の下、患者様は集中的にリハビリテーションに励まれます。その先にあるのが、通所サービス（要支援1～要介護5まで対応）、訪問リハ、介護病棟。もちろん、通院リハビリもあります。

【入院】から【自宅生活の継続】まで、一貫してアプローチできるのが、当院の強みです。

病院ですので、心身面へのアプローチはもちろんですが、地域とのつながりを重視している点も自負しています。

納涼祭、リハビリ友の会、介護教室の開催など、地域に根ざしたりハビリテーションを実践してい

くことで、住みよい町づくり、人づくりに繋がればと試行錯誤の毎日です。

あれやこれやとイベントが目白押しで忙しいですが、職場には情熱と優しさが溢れています。

みなさん、興味があればいつでも見学にいらしてくださいね。



地域リハビリテーション部会よりお知らせ

前回実施しました、壁新聞「きっときと」についてのアンケートにご協力くださりありがとうございました。（回収率：120施設配布し、56施設から返信がありました）

アンケートの結果、約9割の方が新聞を読まれ、今後も継続を希望されていました。また、現状では会員のみ閲覧に留まり、地域の方々にまで読んで頂けていないことを把握することが出来ました。

今後は、頂いたご意見を参考に、文字の大きさや内容を改善していきます。そして、より読みやすく、より役立つ情報を発信していく新聞にリニューアルしていきたいと考えております。

会員の皆様には、新聞の掲示や配布、紹介などを積極的にして頂き、リハビリテーションの情報提供（作業療法の宣伝にも繋がる！）に用いて下されば幸いです。

また、これからもご意見・ご感想をお待ちしております。些細なことでも大歓迎です。県士会員の皆様と一緒により良い「きっときと」を発刊していきたいと思っております。今後とも、よろしくお願い致します。

作業療法士 理学療法士 募集

* 常勤 給与 241,500円～
(経験者、相談業務経験者は優遇)

* パート勤務もご相談下さい

- ・時給1,400円
- ・週12時間程度勤務
- ・半日勤務も可

医療法人社団 薫風会
太田病院

TEL(0766)67-0443(担当 太田智子)
小矢部市新富町3-11

作業・理学療法士募集

リハビリテーションケアを一緒にやりませんか？

待遇 当法人給与規定による優遇(委細面談)
休日 年間115日+リフレッシュ休暇5日間(連続)
研修制度 当法人が回復期モデルとしている初台リハビリテーション病院(東京)や相澤病院(長野)での長期・短期研修制度あり。
病院概要 [入院医療] 回復期リハビリテーション病棟
[在宅支援] 通所リハビリテーション
「あいの風」
訪問リハビリテーション
関連施設 医療法人社団
アルペン会 アルペン室谷クリニック
社会福祉法人
アルペン会 アルペンケアビレッジ
特別養護老人ホーム アルペンハイツ
ケアハウスとやま
応募方法 電話でご連絡下さい(担当:中村、北山)

リハビリテーション病院
アルペンリハビレッジ
ALPEN REHAVILLAGE



〒931-8442 富山県富山市楠木300番地
Fax: 076-438-7780 www.alpen-reha.jp

Tel.076-438-7770

作業・理学療法士募集

募集人員 作業・理学療法士 若干名
待遇 当法人給与規定により優遇(経験年数評価有り)
昇給 年1回、賞与 年2回
各種社会保険、退職金制度有り
勤務時間 9:00～18:00
週休2日制、年次有給休暇(初年度10日)
勤務先 小矢部大家病院
介護老人保健施設ゆうゆうハウス
概況 ・小矢部大家病院 精神科、心療内科、内科の3科
一般(療養型病床群)34床、精神136床
・介護老人保健施設ゆうゆうハウス
入所 80名、通所 20名
応募方法 電話連絡の上、履歴書、免許証(写)を持参又は郵送して下さい。
面接日 随時

医療法人社団 啓委会
小矢部大家病院

〒932-8511 富山県小矢部市島321番地
TEL(0766)67-2002 FAX(0766)67-2288
ホームページ <http://www1.tst.ne.jp/ohkahp/>
電子メール:ohkahp@pl.tst.ne.jp

介護老人保健施設ゆうゆうハウス

〒932-8518 富山県小矢部市島322番地
TEL(0766)67-8008 FAX(0766)67-8002
ホームページ <http://www.yuyuhouse.com/>
電子メール:yuyu@pl.tst.ne.jp

理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 募集

募集人員 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 各1名
業務内容 急性期・回復期・維持期のリハビリテーション
訪問リハビリテーション
待遇 当院規程により優遇
勤務時間 8:30～17:30 9:30～18:30(交代制)
休日 週休2日制、年次有給休暇
施設概要 一般病床34床、医療療養病床34床
内科・外科・消化器科・呼吸器科・循環器科
放射線科・人間ドッグ・人工腎臓透析設備
応募方法 電話連絡の上、面談(採用担当 小野)

特定医療法人財団博仁会

横田病院

〒939-8085 富山県富山市中野新町1-1-11
TEL(076)425-2800 FAX(076)425-2809
URL <http://www.yokotahp.or.jp>

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より



株式会社 **ウイル**

TEL (0766) **56-7099**
FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- | | |
|---------|-----------|
| ○手芸糸 | ハマナカ |
| ○刺し子 | オリムパス、ナスカ |
| ○ビーズ手芸 | トーホー、ミュキ |
| ○マクラメ系 | ダルマ、川端 |
| ○ちりめん手芸 | 東芸 |
| ○その他 | S.M、M.B他 |
- 各手芸材料取り扱いしています。



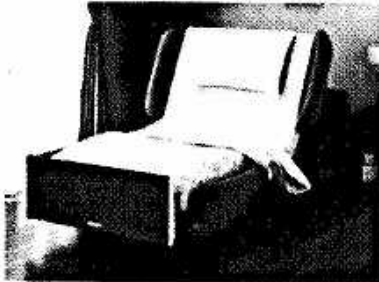
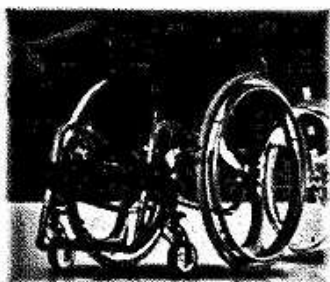
ボタン・手芸・毛糸

スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9
TEL (076) 421-3444
FAX (076) 421-4334

毎日を快適に…より暮らしやすく…そんな想いに、
“安心”と“やすらぎ”を込めてお届けします。

- 義手・義足・コルセット・補装具・特殊靴等、各種製作修理
- 車椅子・電動車椅子・ベット・入浴用品・トイレ用品・リフト等、福祉用具
- 補聴器販売・修理・聴力測定・耳形製作（オーティコン・シーメンス・リオン・ナショナル）
- ストーマ用品（アルケア・スクイブ・コロプラスト・ホリスター）
- 福祉用具レンタル（ベット・車椅子・スロープ・歩行器・介護リフト等）



(株)富山県義肢製作所

富山県補聴器センター

富山市泉町1丁目2-16 Tel076-425-4279(代) Fax076-425-4587

URL <http://www.tpo-morita.com> E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

OTを取り巻く状況

田村良子

いよいよ4月より一般社団法人としての活動が始まります。東海北陸支部長会議でも各県士会が法人化することが報告されています。全体会に長野県士会長の岡本氏を招き、「法人化後の県士会活動のあり方」について講演していただき、今後の事業について助言をいただきました。公益事業という観点では、OTの質を向上させる研修会もそれにより県民へのサービス向上に寄与することになるとのこと。さらに市民公開講座「障害の理解と援助」として、発達障害、認知症、高次脳機能障害、精神障害の5領域を継続的に開いてきたことが紹介されました。作成されたテキストもいただき、このような取り組みが県民への啓発・普及事業として行われているが、実はそれに取り組むOT側の資質向上につながっていることに気づかされました。富山県士会でも公開講座の企画委員会を設けて実現に向けて歩んでいきたいと思えます。

また、そういった事業だけでなく、日頃の県士会員ひとり一人の仕事ぶりが「作業療法」の広報になっているという自覚も大切です。OT協会からの倫理問題事例一覧には、「患者家族からの病院作業療法士の手抜き治療に対する告発」というのも含まれています。

新政権となり船出は難航しているようですが、作業療法士の業界でも「リハビリテーションを必要としている人達に、平等に十分なサービスが提供できる環境作りのために」として政治的働きかけをしていく「日本作業療法士連盟」が12月6日に設立されました。OT協会とは別組織であり、協会を支持する政治団体として他のリハ職種とも共同で活動していくものです。各県の連盟責任者を募っています。関心のある方は田村まで連絡を下さい。

賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所	備考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL076-425-1166	
懶ウイル (代表取締役 山口裕二)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL0766-56-7099	
酒井医療福祉金沢出張所 (所長 小木章)	〒920-0053 金沢市若宮町156街区9-1 TEL076-223-4420	
平野重喜	〒930-0008 富山市神通本町2-3-7 TEL076-432-6617	備 クラフト 工房
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL076-476-0001	
斉藤義肢製作所	〒939-2627 富山市婦中町十五丁3番1 TEL076-465-4746	
備スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL076-421-3444	

編集後記

年をとるにつれて不眠の悩みを抱える人の数は増えていくそうです。また、若くても不眠に悩む人は少なくありません。そんな人のなかには寝酒を飲んでいるという人もいますが、これはまったくの逆効果だそうです。

確かにアルコールには催眠作用があるため、飲むと寝つきがよくなります。しかし、寝酒が習慣になるとしだいに脳に耐性がつき、飲む量がどんどん増えていきます。その結果、アルコール依存症になる危険があるそうです。

また、厚生労働省の調査によれば、睡眠中にアルコールが切れると眠りが浅くなり、何度も覚醒するなど、睡眠の質が極端に悪くなることがわかっています。

さらに、毎日続けていた寝酒を何らかの理由で飲まなかった場合、強度の不眠や悪夢に襲われることもあるそうです。少量のお酒を楽しみながら飲むのは問題ありませんが、眠るために飲むお酒はやめたほうがいいようです。

扇山 和也